

会報

一般社団法人 北海道電業協会

No.209
2026.06



会 報

2026.6
No.209

目 次

巻頭言「都市局長着任にあたって」

札幌市都市局長 吉 田 幸 治…………… 1

就 任 ご 挨 拶

株式会社北海道ジーエス・ユアササービス 代表取締役社長 外波山 誠 人

北工電気株式会社札幌支店 取締役支店長 森 等

株式会社ユアテック北海道支社 支社長 中 村 隆 雄

ダイダン株式会社北海道支店 理事支店長 長 田 公 一… 2～3

建設業関連団体への「働き方改革」推進要請活動…………… 4～5

令和7年度 技術講習会 …………… 6

令和7年度 電設業関連4団体懇談会 …………… 7

令和7年度 第2回 運営協議会（地区代表者会議）…………… 8

電気設備学会・北海道電業協会『2025年度 講習会』…………… 9

令和8年度 技術・安全衛生基礎教育講習会 ……………10～11

(一社)北海道電業協会第60回定時総会

(一社)日本電設工業協会北海道支部第70回定時総会……………12～13

定時総会会長挨拶

(一社)北海道電業協会 会長

(一社)日本電設工業協会北海道支部 支部長 藪 下 裕 己……………14

令和8年度 北海道電業協会スローガン ……………15

(一社)北海道電業協会 役員

(一社)日本電設工業協会北海道支部 役員……………16

地区協会 Topics「技術講習会開催する！」～苫小牧・釧根電業協会～……………17

シリーズ 1／179 便り

・豊穡な天塩川と最北しじみが育む 悠久の歴史 ～天塩町～

天塩町長 吉 田 忠……………18～19

・世界自然遺産・知床のまち ～羅臼町～

羅臼町長 湊 屋 稔……………20～21

シリーズ 学び舎からこんにちは ～札幌科学技術専門学校～……………22～23

シリーズ 地区協会便り

苫小牧電業協会 会長 大 滝 力 緒……………24～25

シリーズ 私のいちおし

株式会社北弘電社 代表取締役社長 佐 藤 友 昭……………26

厚生事業活動報告……………27

業界だより、理事会・三役会議・委員会報告……………28～31

講習会情報……………32

事務局日誌……………33

常設委員会・部会組織と役員名簿……………34～35

今後の主要な行事予定……………36

編 集 後 記



「都市局長着任にあたって」

札幌市都市局長

吉 田 幸 治

このたび、都市局長に着任いたしました吉田でございます。北海道電業協会の皆様には、平素より札幌市の様々な取り組みに対し、ご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

札幌市では、人口減少や少子高齢化の進展に伴う様々な課題に加え、激甚化する自然災害、そしてGX、DXなど急速に変化する社会環境への対応が求められております。

そのような中、私ども都市局では持続可能な都市の発展と市民の安全で快適な暮らしを支えるため「第2次札幌市まちづくり戦略ビジョン・アクションプラン2023」に基づき様々な取り組みを進めてまいります。

札幌市の市有施設の多くは、政令指定都市移行前後に集中的に整備されました。そこで、都市局では、市有施設の更新や大規模改修の時期の集中を避け、計画的かつ効率的な維持・保全を行うため、「市有建築物保全推進事業」を実施し、施設の長寿命化や建替時期の分散化を図っております。

令和8年度は、円山球場、芸術の森センターなどの保全工事を行うほか、東区役所、東区民センター、札幌コンサートホールKitaraの実施設計などを行う予定です。その他、老朽化が進んでいる施設の設備更新や外壁などの保全工事についても順次実施してまいります。

また、札幌市は2050年に温室効果ガスを実質ゼロにする「ゼロカーボンシティ」を目指し、新築・改築等を行う市有建築物のZEB化を進めております。令和8年度は、施工中の東消防署や義務教育学校「真駒内学園」などにおいて、ZEB-Readyの達成を目指しているほか、現在、基本・実施設計を進めている清田区民センターや各学校の新築などにおいてもZEB化を目標に検討を進め

ております。この取り組みの一環として、市有建築物におけるLED照明器具への更新や太陽光発電設備の設置も引き続き進めてまいります。

市営住宅についても、近年は断熱性能や省エネ性能をより向上させたZEH水準を満たす仕様により建築することで環境に配慮し、バリアフリー対応、エレベーター設置などのこれまでの取り組みと併せて、寒冷地における快適な居住環境の確保を目指し、計画的に建替事業を進めております。令和8年度は、伏古団地B-1、B-2号棟及び月寒団地A-1、A-2号棟の建築工事に着手する予定です。

このほか、災害に強い都市の構築に向けて、民間建築物の耐震化に向けた支援を行っております。本年3月には「第4次札幌市耐震改修促進計画」を策定し、これに基づき、建築物の地震に対する安全性の向上により一層取り組んでまいります。

札幌市は、先人たちの知恵とたゆまぬ努力により、様々な社会経済情勢の変化に対応しながら、世界に誇る大都市へと発展してきました。先人たちから受け継いだこの素晴らしい札幌の町を、未来を担う子どもたちへ持続可能な形で引き継いでいくため、皆様方には、引き続きお力添えをいただきますよう心からお願い申し上げます。

結びに、貴協会の益々のご発展と会員の皆様方のご健勝を祈念いたしまして、着任の挨拶とさせていただきます。

就任ご挨拶



(株)北海道ジーエス・
ユアサービス
代表取締役社長

外波山 誠 人

平素は当協会並びに会員の皆様には大変お世話になり、心より御礼申し上げます。

この度、2026年4月1日付で前社長 藤田 真一の後任として就任しました、外波山 誠人（トバヤマ マコト）と申します。

弊社は、北海道の地において創業以来54年にわたり、GSユアサグループの一員として、非常用電源や蓄電池設備の販売だけにとどまらず、据付工事・保守メンテナンスまでを一貫して担っていることが特徴の会社となっております。これらの設備は災害時や非常時において社会を守る重要な役割を担っており、その責任の重さを日々実感しております。

また、近年では自然災害の激甚化やエネルギーを取り巻く環境の変化により蓄電池や電源の重要性は一層高まっております。

こうしたなか、弊社といたしましてもこれまでに培ってきた技術や経験を活かし、更なる現場力の向上と品質の確保に努め、社会の安心安全へつなげることに日々取り組んでおります。

地域に根ざして歩んできた企業としての強みをこれからも継承し、皆様とも連携を深めつつ今後の弊社及び業界全体の発展にも貢献してまいりたいと考えております。

4月1日付けで北海道へ赴任してまいりましたばかりにつき、まだまだ不慣れな面が多々ございますが、今後少しでもお役に立てるよう努めてまいります。

皆様のご指導とご鞭撻を賜りますようよろしくお願い申し上げます。



北工電気(株)札幌支店
取締役支店長

森 等

初夏の候、会員の皆様におかれましては、益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

私はこの度、前支店長の笠原 俊男の後任として令和7年12月1日付で札幌支店長に就任いたしました森 等でございます。平素は当協会並びに会員の皆様には大変お世話になり、心より厚く御礼申し上げます。

当社は1946年（昭和21年）札幌において、北海道大学工学部の同級生を中心に創業いたしました。創業当時はトランス等の修理を請け負っていましたが、今日に至るまで技術を磨き、現在では電気工事の設計・施工を中心に着実に経験と実績を重ね、お客様のニーズにお応えすることで成長

してまいりました。私たちは、厳しい時代の変化に遅れることなく日々立ち向かい、今年創業80年を迎えることができ、その実績を基に、新たに次のステップに進み始めたところでございます。

先輩の皆様が創業時より北工電気の社員として大事にしてきました理念や歴史なども継承しながら進めてまいります。そして、豊富な技術力でお客様の信頼にお応えすべく、会員の皆様と共に成長しながら、地域社会の発展のために、新たな挑戦をしていきたいと考えております。今後ともご指導を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

最後になりますが、北海道電業協会の益々のご発展と、会員皆様のご繁栄とご健勝をご祈念申し上げます。新任の挨拶とさせていただきます。



(株)ユアテック北海道支社
支社長

中 村 隆 雄

薄暑の候、会員の皆様におかれましては、益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

この度、令和8年4月1日付で、前北海道支社長 大山 智裕の後任として就任いたしました中村隆雄でございます。平素より当協会並びに会員の皆様には格別のご高配を賜り、心より厚く御礼申し上げます。

当社は昭和19年10月に東北電気工事株式会社として創業以来、総合設備業として多様化する社会の要請に応え、技術力と工法の向上に努めてまいりました。平成3年4月には社名を株式会社ユアテックに改め、総合設備エンジニアリング企業として歩みを進めております。札幌市には、昭和46

年12月に事業所を開設し、現在に至っております。

私は仙台市出身で、これまで関東地方および東北地方の多くの事業所にて勤務し、幅広い業務に携わってまいりましたが、北海道での勤務は今回が初めてとなります。北海道の風土や文化への理解を深めつつ、一日も早く地域に根ざした支社運営に努めてまいります。

北海道経済は人手不足や高齢化などの課題を抱える一方、インバウンド需要や半導体関連投資を背景に、穏やかな回復基調にあると承知しております。新たな出会いを大切に、地域の皆様との信頼関係を一層深めながら、北海道経済の持続的な発展に微力ながら貢献してまいり所存であります。

最後に、北海道電業協会の益々のご発展と、会員皆様のご健勝とご繁栄を祈念申し上げ、ご挨拶といたします。



ダイダン(株)北海道支店
理事支店長

長 田 公 一

初夏の爽やかな風が心地よい季節となり、会員の皆様におかれましては一層のご盛隆のこととお慶び申し上げます。

この度、令和8年4月1日付けで北海道支店長に就任いたしました長田 公一でございます。平素より北海道電業協会の皆様には格別のご指導を賜り、厚く御礼申し上げます。

弊社は明治36年創業、昭和62年に大阪電気暖房株式会社からダイダン株式会社に称号変更を行い現在に至っております。総合設備業者としてお客様、株主様、協力会社様に支えられ創業123年目となりました。

北海道には昭和30年札幌に出張所を立ち上げ、

昭和34年には現在の北20条西に移転しました。令和3年6月に「寒冷地のZEB」として新社屋を完成させ、新たにスタートいたしました。

世界情勢が不安定な中、原材料の高騰・品薄等、先の見えない事態となっておりますが、弊社といたしましては、安全・快適・信頼を皆様に届けることを責務とし、北海道電業協会様の発展に少しでもお役に立てるよう最善を尽くしてまいります。

今後ともご指導ご鞭撻のほど、何卒よろしくお願い申し上げます。

これからの北海道電業協会様の益々のご発展と会員各社様のご繁栄とご健勝を祈念申し上げ就任のご挨拶とさせていただきます。



建設業関連団体への「働き方改革」推進要請活動

建設業関連団体への「働き方改革」推進に向けた要請活動については、令和5年から実施しており、今回で3回目となる。1月30日に(社)北海道建設業協会へ、2月2日に(社)日本建設業連合会北海道支部へ要請活動を実施した。

冒頭、藪下会長より「働き方改革関連法」の遵守に向けた「適正な工期の確保および工程の遵守」「長時間労働の是正」「対等な契約関係の構築」「適切な労働環境の確保」について要請を実施。その後、意見交換を行った。

適正な工期確保や長時間労働の是正を要請！



(社)北海道建設業協会

- 日 時 令和8年1月30日(金) 13:30～14:00
- 場 所 先方共用会議室
- 出席者 藪下会長、萩本副会長、鎌田専務理事
- 先方の主な発言
 - ・今年の採用では、8割程度は確保出来たという感じである。工業高校の土木関係の生徒の半分は土木業務に就職しないような状況であり、全体の8割方が大学に進学している。工業高校は非常に厳しい状況である。
 - ・民間工事では、4週8休になるよう工程を描いて施主に理解をお願いしているが、それを伸ばす方向に向かうことは難しい。
 - ・人材確保に向けては、PRを業界全体で取り組む必要があり、動画制作に取り組んでいる。



(社)日本建設業連合会北海道支部

- 日 時 令和8年2月2日(月) 13:30～14:00
- 場 所 鹿島建設(株)北海道支店応接室
- 出席者 藪下会長、小林副会長、鎌田専務理事
- 先方の主な発言
 - ・人手不足に苦慮しているのは建設業界も同じ状況である。4週8休を目指して努力している。発注者にも理解をお願いしているが、実際は、厳しい状況である。
 - ・工業高校へのリクルート活動にも力を入れている。子どもの数が限られる中での対応として、外国人材活用、生産性向上、ロボット登用などの話題が出ている。また、業界のPR活動も必要と考えている。

～働き方改革関連法～

働き方改革関連法は、労働基準法や労働安全衛生法など8つの労働関連法を改正し、長時間労働の是正、多様な働き方の実現、雇用形態に関わらない公正な待遇の確保を目指す法律です。平成30年6月に成立し、平成31年4月から順次施行されています。建設業には令和6年4月1日より適用されています。

この法律は、少子高齢化による労働人口の減少や長時間労働、正規・非正規間の待遇格差などの問題を解決するために施行されました。労働者がそれぞれの事情に応じた多様な働き方を選択出来る社会の実現を目的としています。

《働き方改革の推進等に関するお願い》

1. 適正な工期の確保及び工程の遵守

- (1) 工事請負契約の締結に当たっては、4週8閉所の実施が可能な工期の設定と資機材の調達に要する期間、総合試運転調整の期間、熱中症対策等を考慮した適正な工期を確保願います。特に、新築工事については、土日一斉閉所の完全実施が可能な工期の確保、工程管理をお願いします。
- (2) 総合工程表に建物躯体の完成時期、概成工期、受電日、総合試運転調整の期間を明記し、工程の遵守をお願いします。また工程に遅れが生じた場合には、工期の延長、契約金額の変更等、適切な対応をお願いします。
- (3) 躯体工事の遅れを設備工事、仕上げ工事等の後工程で補おうとする風潮が多職種の作業員の輻輳を招いています。特に、受電日前の内装工程の遅れが、設備工事会社への負担過多につながっている状況です。こうした事態を回避するためにも躯体工事及び仕上げ工事の厳正な工程管理をお願いします。
- (4) 資機材の搬入と揚重において、時間外の作業とならないよう建築、設備それぞれの物量に応じた割り当ての実施と搬入時期の調整管理をお願いします。

2. 長時間労働の是正

- (1) 業務の輻輳を回避するためにも、施主への働きかけの実施により施主要望を反映した設計仕様の早期決定及び各種決め事のスケジュール遵守、ならびに早期の承認をお願いします。
- (2) 「翌日」又は「金曜日に月曜日」を期限とする業務依頼を行わない、各種会議、打ち合わせを就業時間内で実施するなど、ウィークリースタンスを民間工事においても適用拡大し、更なる徹底をお願いします。

3. 対等な契約関係の構築

- (1) 施主等への協力要請を含め、注文者による定期的な協議の実施等「労務費の適切な転嫁のための価格交渉に関する指針」の遵守とともに、契約後に資材価格等が上昇した場合に誠実な協議の実施をお願いします。
- (2) 下請代金の支払において、注文者から出来高払い又は竣工払を受けた場合、出来る限り早期に下請負人へ支払うとともに、労務費相当分を現金払とするよう配慮するなど、サプライチェーン全体での支払条件や支払い手段の改善に努めることが求められています（「価格転嫁・取引適正化に関する今後の取組について（要請）」（国不建第28号／令和7年6月3日））。取引適正化遵守のため、出来高の早期認定及び支払いをお願いします。

4. 適切な労働環境の確保

働き方改革の一環として、現場事務所、作業員詰所のスペース確保に取り組んでいます。内装工事の繁忙時には作業員の休憩所の確保が厳しくなる傾向にありますが、労働環境改善のために工期全体を通してスペースの確保にご配慮願います。

令和7年度 技術講習会

～現場管理業務のポイント／現場代理人～



令和8年2月3日(火)北海道電気会館において技術講習会を開催しました。今年度のテーマは「現場管理業務のポイント／現場代理人」。道内各地の会員から29名の技術者が受講しました。

開会にあたり当協会の松尾 浩技術安全委員長は、「本日の講習は、現場代理人業務の基本から、



松尾 委員長

施工管理・工程管理・品質管理・安全管理・原価管理に至るまで、現場運営の中核となる要点を一日で体系的に学べる貴重な機会です。本日の学びが、皆さまの日々の現場管理における一助となり、さらなる安全・品質向上、ひいては北海道の電気設備業界全体の発展につながることを期待しています」と呼びかけました。



川口 講師

講師には、(株)北海電工の川口 博氏が(社)日本電設工業協会より派遣されました。日本電設工業協会発行のテキストとパワーポイントの資料を交え、4時間にわたり丁寧な講義がありました。

現場代理人の業務では、工事現場における社長の代理として工事全般の施工管理を行うことが

ら、様々な立場について解説。「技術力の維持・向上を図ることは当然であるが、取り巻く複雑な対人環境に対応していくためには、工事関係者との良好な信頼関係の構築も欠かせない」とコミュニケーション力の重要性を強調しました。

続いて、現場管理業務の概説では、各種届出や仮設設備の設置、施工中の管理から竣工後の管理事務について解説されました。

施工技術管理では、施工計画から官公庁等への申請手続きと施工管理について、その他、工程管理、資材管理、品質管理、安全管理、労務管理、原価管理と解説がありました。

最後に、就業者の減少や高齢化の進行など、建設業就業者の現状に触れ、建設業のDX推進の必要性和ミドルオフィス強化など、現場業務の分業化の重要性を呼びかけました。

受講者アンケートでは、「とても分かりやすい講習だった」「とても勉強になった。日々の業務に活かしていきたい」「自分が普段やること、分からないこと、足りないことを再確認出来た」「このような講習会は、今後自分が仕事をしていく上で必要なことばかりであり、また機会があれば参加したい」などの意見が寄せられました。

来年は「電気設備工事の施工計画の作成方法」をテーマに開催を予定しています。

令和7年度 電設業関連4団体懇談会



令和8年2月12日(木)ニューオータニイン札幌において、当協会と北海道電気資材卸業協同組合、(一社)日本配電制御システム工業会北海道支部、電設資材メーカー（パナソニック㈱エレクトリックワークス社北海道電材営業部、東芝ライテック㈱北海道支店、三菱電機住環境システムズ㈱北海道支店）の4団体による懇談会を開催し、藪下 裕己会長他7名が出席しました。

冒頭、藪下会長は現下の諸情勢に触れた後に「超高齢化や少子化社会が進展し、当業界においても技術者、技能者不足、若年者担い手不足の課題に直面しており、今後の施工力確保が懸念されている。働き方改革にしっかりと取り組み、入職率の向上と離職率の抑制に向け、労働環境を改善し夢と誇りを持って働ける、また働き手にとって自己成長を実感出来る、そんな業界づくり、企業づくりに努めていかなければならない。この先も安心、快適に利便性の高い社会生活や経済活動を支えるべく、経年劣化著しい、社会インフラの守り手として電設資材関係の団体や企業の皆さまと

さらに連携を深めながら、持続的に社会貢献出来るよう取り組んでいきたい。本日は、情報共有や忌憚のない意見交換をもって実りある懇談会としたい」と協力を求めました。

続いて北海道電気資材卸業協同組合の三神 司理事長、日本配電制御システム工業会の石田 俊平支部長より、現況や景況感をはじめ、物流や配送料の高騰、資材パーツの値上げ、先行きの見通しや今後の課題などについて、報告を兼ねた挨拶がありました。



萩本・伏木・小林副会長、土田委員長、今野副委員長

懇談会では、パナソニック㈱エレクトリックワークス社の松木 英彦課長、東芝ライテック㈱の布野 翔大所長、三菱電機住環境システムズ㈱の山本 吉照営業部長より、2027年の蛍光灯製造廃止によるLED化、省エネ基準見直しに伴う家庭用エアコン問題や人手不足による出荷、配送の遅延など物流の現状について、それぞれの立場から情報提供がありました。また各業界の現状や今後の動向などについても意見が交わされました。



三神 理事長



石田 支部長



藪下 会長

令和7年度 第2回 運営協議会（地区代表者会議）



抱える課題について認識を共有する

令和8年3月24日(火)北海道電気会館において、第2回運営協議会が開催され、地区電業協会から8地区8名の代表者、当協会からは藪下裕己会長等12名の計20名が出席しました。

開会にあたり藪下会長は「国際情勢は中東紛争を含め、先行きは不透明であり油断を許さない状況となっている。原油価格も相当値上げされている中で、資機材価格の高騰、人件費の高騰など事業を取り巻く環境は大変厳しい状況といわざるを得ない。



藪下 会長

加えて、担い手確保は喫緊の課題であり、本日意見交換させていただくが、待ったなしの状況の中で、電気設備にかかる事業をしっかりと成し遂げていかなければならない。

互いに課題を共有しながら、一朝一夕に解決出来ない課題もあると思うが、しっかりと対応しながら事業を進めていきたい。今後ご理解とご支援をお願いします」と呼びかけました。

続いて、鎌田専務理事より、5月29日(金)に開催される第60回定時総会の付議事項（案）について説明があった後、業界が抱える諸課題として次の3テーマについて意見交換を行いました。

1. 人材確保・育成について

- ・そもそも学生の減少により、多くの企業において新卒採用が出来ていない。
- ・地元の工業高校では、大幅な募集定員割れをしており、そのうちの3分の1程度しか道内の電気工事関連会社に就職していない。
- ・高校生の地元就職者が減少している。

2. 現場代理人・技術者不足への対応

- ・現場代理人・技術者不足は切実な課題であり、ベテラン代理人の負荷が大きくなっている。
- ・現場代理人・技術者の高齢化が進み、数年先が非常に懸念される。
- ・技術員が高齢化している中、デジタル化が進み対応に苦慮している

3. 官公庁工事の発注方式の変化への対応

- ・契約の変更により、今後労務のみの下請けケースになることが懸念される。
- ・発注方式の変更により、施工品質管理についての責任が不明確になることが懸念される。
- ・PFI方式は中小の工事会社には敷居が高い。

など、課題に沿って、現状の取り組みや今後の対応などについて意見が交わされました。

電気設備学会・北海道電業協会『2025年度 講習会』



《講習会テーマ》

JIS Z 9290-3 雷保護の改正ポイントと現場での注意点

◎ 講 師

大阪避雷針工業株式会社

本社技術本部長 — 柳 修 司 氏

令和 8 年 3 月 26 日(木)電気設備学会と当協会の共催による『2025年度 講習会』を(株)北海電工の 8 階講堂にて開催しました。

日本の雷の傾向は、近年も発生自体は多く、地域差が大きいのが特徴となっています。特に夏季は全国で落雷事故が多く、農業設備や屋外作業での被害が問題になっています。気温上昇と局地的な豪雨が増える中で、雷のリスクは、形を変えながら続いている状況となっています。

建築物等への物的破損および人命を雷撃から保護する手順を定めた JIS Z 9290-3（雷保護）は、

令和 7 年 4 月 1 日の建築基準法改正の告示に伴い、令和 8 年 4 月 1 日より経過措置を経て完全施行されることになりました。

今回の講習会では、改正のポイントと事例説明を交えた JIS Z 9290-3 の解説、改修工事や遡及措置にあたっての施工の解説や注意点などについて、ご講演をいただきました。

ハイブリッド形式で開催された講習会には、会場に 34 名、オンラインには 38 名の合計 72 名の参加があり、会場ではメモを取るなど、熱心に耳を傾けていました。



講師を務めていただいた一柳 部長

＜講師プロフィール＞

- ・ 1993 年 3 月 北海道工業大学卒業
- ・ 1993 年 4 月 大阪避雷針工業(株)入社
- ・ 2009 年 6 月 大阪避雷針工業(株)札幌支店長
- ・ 2021 年 10 月 現職

令和8年度 技術・安全衛生基礎教育講習会



令和8年4月7日(火)～10日(金)の4日間、北海道電気会館6階大ホールにおいて、新入社員、新入社員を対象とした、令和8年度技術・安全衛生基礎教育講習会を開催しました。

この講習会は、将来を担う新人や入社数年の若手社員の人材育成を目的に、平成4年から例年開催しています。今年の講習会へは、18社から31名が受講しました。

冒頭の開講挨拶にて技術安全委員会 小川 恒明副委員長は「この講習会は、会社に入社された新人の方を対象に、皆さんがこれから携わる電気工



小川 副委員長

事に関する基礎を学んでいただき、将来に向けた電気業界の担い手となっていただくことを目的とした講習会となっています。今日から4日間の講習では、現場で仕事をする上で必要となる基本的な知識

や考え方をお伝えします。自分達の技術の土台として積み上げていってください」と呼びかけました。

講習会の講師は、会員企業のベテラン技術者が務め、電気設備の概要や受変電、発電、電気貯蔵、再生可能エネルギーを利用した電源システムや設計・積算の基本、電気工事の施工など、技術と安全衛生に関する知識を教授。受講者は経験豊富な講師陣の講義に真剣に耳を傾け、新人技術者

の基本的な知識や業務および安全衛生管理の必要性と重要性などを学び、最終日には全員に修了証が手渡されました。

【講習項目と講師紹介】

主な講習項目	講	師
電気設備概論	東光電気工事(株) シニアアドバイザー 鈴木 正行 氏	
受変電設備 材料と工具 発電設備等	(株)北海電工 電設工事部マネージャー 川口 博 氏	
電気と安全、 労働災害防止	(株)北海電工 安全品質部 半崎 郁哉 氏	
設計と積算 照明設備	(株)きんでん 工事部技術課長 村上 雅春 氏	
監視制御設備 情報通信設備	(株)北弘電社 安全技術統括部長 太田 展浩 氏	
配線工事の基本 幹線設備等	拓北電業(株) 専務取締役 宮森 慎一 氏	
防災設備 雷保護システム等	協信電気工業(株) 常務取締役 小川 恒明 氏	



■ DVD視聴

講習会の冒頭に「明日への挑戦」～電気を支えるプロフェッショナルたち～を視聴しました。



■ 講義を受講する参加者

緊張の面持ちで講義に聞き入る新人社員。これから4日間の講習がスタートします。



■ パワーポイントの資料を併用

テキストは日本電設工業協会編集「新人教育」を使用。各講師はパワーポイントの資料も併用。



■ 電線・ケーブルの展示

会場には実際に現場で使われる電線とケーブルを展示。参加者は手に取って確かめていました。



■ 指差呼称

安全衛生教育では指差呼称を演練。「一人ひとりかけがえのない命 ヨシ！」



■ 修了証の授与

講習会終了後、一人一人に修了証が手渡されました。4日間お疲れさまでした。



令和8年5月29日(金)午後3時30分より札幌グランドホテルにおいて、(一社)北海道電業協会第60回・(一社)日本電設工業協会北海道支部第70回定時総会が開催され、会員代表者のほか、ご来賓・関係者を含め54名が出席しました。

定時総会は開会宣言の後、議事に先立ち協会功績者が表彰され、感謝状と記念品が授与されました。功績者は次のとおりです。

○ 功績者

・株式会社 北弘電社

代表取締役社長 佐藤 友昭 様

・株式会社 北海電工

取締役常務執行役員 今野 正章 様



役員・功績者を囲んで(上 今野氏)

開会にあたり戴下会長・支部長から、電設業界を取り巻く情勢や協会事業運営についての挨拶があり(14ページ参照)「私どもが抱える課題は一層複雑化している。持続可能な業界として次の世代へつないでいくためには「人への投資」と「働

きやすい環境づくり」がこれまで以上に重要となってくる。会員相互の信頼と連携をより一層深めるとともに関係官公庁、関係団体とも連携を図り、新たな時代の要請にも的確に対応しながら、業界の持続的な発展に向け取り組んでいく」と、会員に向け協力を呼び掛けました。

引き続き議長として議事の運営に入り、最初に出席状況報告があり、会員代表者41名、委任状提出者19名、合計60名の出席により総会の成立が宣言されました。

続いて、議事録署名人に石田 貴久氏(株)でんこう)と吉岡 智己氏(住友電設(株)北海道支店)を選出し、議案の審議を行いました。

- ・第1号議案 令和7年度 事業活動の報告
- ・第2号議案 令和7年度 収支決算の件および会計監査報告
- ・第3号議案 令和8年度 事業計画の報告
- ・第4号議案 令和8年度 収支予算の報告

以上の議案は、意見、要望はなく原案どおり了承、承認されました。

- ・第5号議案 令和8年度 スローガンの採択

当協会の運営および事業実施の基本として、諸課題の克服と「多様な人材が“いきいき”と活躍する魅力と活力あふれる電設業界を目指す!」としたスローガンが稲津総務委員長より提案され、全会一致にて採択されました。

以上をもって、北海道電業協会定時総会は終了しました。(新役員は16ページ参照)

引き続き、(一社)日本電設工業協会北海道支部定時総会が開催されました。藪下支部長が同じく議長を務め議事を運営しました。

会員の出席状況は、会員代表者28名、委任状提出19名、合計47名の出席により総会の成立が宣言された後、同じく、石田 貴久氏、吉岡 智己氏の両氏を議事録署名人に選出し、各議案の審議を行いました。

- ・第1号議案 令和7年度 事業活動の報告
- ・第2号議案 令和7年度 収支決算の件および会計監査報告

- ・第3号議案 令和8年度 事業計画の報告
- ・第4号議案 令和8年度 収支予算の報告

審議の結果、4議案とも意見、要望はなく、各議案とも原案どおり了承、承認されました。

以上をもって、(一社)日本電設工業協会北海道支部定時総会は終了しました。



合同懇親会

定時総会に引き続き、同ホテル別館2階のグランドホール（東）において、合同懇親会が行われました。

冒頭、藪下会長・支部長より「電設工事業界が担う役割を果たすべく、諸課題の解決に向け積極的に取り組んでいるが、業界の自助努力だけでは、乗り越えることができない課題も多い。労働環境を大きく変えていくためには、発注者、受注者という立場を超えて、社会インフラをともに守り支える



パートナーとしての関係性をより強めながら、会員相互の信頼と連携のもと、関係官公庁、関係団体の皆さまとのコミュニケーションをさらに深め、業界が抱える課題に一步一步着実に取り組んでいきたいと考えている。今後とも変わらぬご指導、ご鞭撻をお願いします」と挨拶がありました。

続いて、ご来賓の国土交通省北海道開発局営繕部長 滝本 悦郎 様、経済産業省北海道産業保安監督部長 山下 宜範 様、防衛省北海道防衛局調達部長 石原 弘仁 様、北海道建設部建築局長 清水 浩史 様よりそれぞれご祝辞をいただき、札幌市都市局長 吉田 幸治 様のご発声による乾杯で開宴となりました。



ご来賓には、(一社)北海道設備設計事務所協会、(一社)北海道建築士事務所協会、(一社)北海道空調衛生工事業協会、北海道電気工事業工業組合、札幌弱電設備業協同組合、日本電気協会北海道支部、札幌電気工事業協同組合、(一社)札幌電設業協会、(株)北海道建設新聞社など、官公庁、業界団体より24名の多数のご臨席をいただき、終始和やかに歓談し、会員との懇親が深められました。

最後に当協会の伏木 淳副会長・副支部長は「人材の確保が喫緊の課題となっている。今後も処遇の改善や電気工事業界の魅力発信、PRに努めながら、よりよい業界を目指して取り組んでいく。令和8年度も変わらぬご協力、ご支援をお願いします」と挨拶し、一丁締めにより懇親会はお開きとなりました。

○ 挨拶されたご来賓



滝本部長 山下部長 石原部長 清水局長 吉田局長



(一社)北海道電業協会第60回定時総会並びに (一社)日本電設工業協会北海道支部第70回定時総会

(一社)北海道電業協会 会長
(一社)日本電設工業協会北海道支部 支部長

藪 下 裕 己

ただいまご紹介をいただきました、藪下でございます。北海道電業協会第60回定時総会、ならびに日本電設工業協会北海道支部第70回定時総会の開会にあたり、一言ご挨拶を申し上げます。

本日は、会員の皆さまには何かとご多用の中、本総会にご出席を賜り、誠にありがとうございます。また、日頃より当協会の諸活動に対しまして、多大なるご支援、ご協力を賜っておりますこと、この場をお借りして厚く御礼申し上げます。

先ほどは2名の方の協会功績者表彰を行いました。受章された佐藤様は、協会理事及び技術安全委員会の委員長、経営委員会の副委員長として、そして本日はご欠席ですが、今野様は、技術安全委員会の委員及び経営委員会の副委員長として、長年にわたり協会活動に多大なるご尽力を賜りました。あらためて心から感謝申し上げますとともに、益々のご活躍を心より祈念しております。

さて、昨年度を振り返りますと、当協会においては、各種研修事業や調査活動、関係団体との連携事業などを概ね計画どおり実施することが出来ました。これもひとえに、会員各社並びに関係各位のご理解とご協力の賜物であり、あらためて深く感謝申し上げます。

一方で、私ども電設工事業界を取り巻く環境は、依然として厳しい状況が続いております。

近年の資機材価格や労務費の高騰に加え、昨今のイラン情勢をはじめとした中東地域の緊張の高まりは、エネルギー価格や物流コストの上昇、さらには電設資材の供給面にも大きな影響を及ぼすことが懸念されております。

また、慢性的な人手不足や若年入職者の減少、建設業における働き方改革への対応など、私どもが抱える課題は一層複雑化しております。持続可能な業界として次の世代へつないでいくためには、「人への投資」と「働きやすい環境づくり」がこれまで以上に重要になるものと考えておりま

す。

加えて近年は、自然災害の激甚化、頻発化に加え、社会インフラ設備の老朽化も大きな課題となっております。私ども電設工事業界には、社会生活や経済活動に不可欠な電気設備を支え、安全で安定した電力供給に貢献するという、極めて重要な使命があり、その責任の重さをあらためて強く認識しているところであります。

他方、北海道においては、ラピダス社による次世代半導体工場建設をはじめ、関連企業の進出やインフラ整備など、大規模なプロジェクトが進展しており、電設工事業界に対する期待と需要は、今後さらに高まっていくものと考えております。

こうした国家的プロジェクトを支え、地域経済の発展に貢献していくためにも、安定した施工体制の確保、人材育成、技術力の向上、安全管理の徹底など、業界全体としての対応力強化がこれまで以上に重要になっております。

私ども協会といたしましても、会員相互の信頼と連携をより一層深めながら、関係官公庁、関係団体との連携を図り、北海道の社会インフラを支え続けるとともに、今後拡大が見込まれる半導体、データセンター関連需要など、新たな時代の要請にも的確に対応しながら、業界の持続的な発展に向けて取り組んでまいります。

本日の総会では、令和7年度事業報告ならびに収支決算、また令和8年度の事業計画等についてご審議いただく予定となっております。会員の皆さまには、忌憚のないご意見を賜りますようお願い申し上げます。

結びになりますが、会員各社ならびにご出席の皆さまの益々のご発展とご健勝、ご多幸を心よりご祈念申し上げ、開会のご挨拶とさせていただきます。

本日はどうぞよろしくお願いいたします。



令和 8 年度 北海道電業協会 スローガン

多様な人材が“いきいき”と活躍する 魅力と活力あふれる電設業界を目指す！

1. 働き方改革を一層進め、魅力と活力あふれる業界を目指そう

- ・働き方改革を深化させ、担い手不足に対応した「多様な人材の確保・育成」及び「ソフト・ハード両面からの生産性向上」を目指す。
- ・現場における「適切な工期設定と工程管理」の確保、「4 週 8 閉所」の実現に取り組むとともに、優良な施工品質と安全の確保を図る。
- ・請負契約の見直しによる受発注者間の対等な関係の構築に向けた条件整備と、関係者・関係機関とのコミュニケーションを充実させる。
- ・これからの業界を担う人材の育成や技術の継承に加え、業務の合理化・効率化を着実に進めるため、効果的な研修・講習を計画的に実施する。

2. 分離発注の一層の浸透を目指そう

- ・電気設備工事における品質とコストとの関係が透明かつ明確で、顧客に対し満足度の高いサービスを提供することが可能な分離発注の浸透に向けた提案力の強化を進める。

3. 新時代に対応した新たなビジネスモデルを構築しよう

- ・社会や地域のGX実現に向けた対応や、DXの推進による生産性向上など業界を取り巻く環境変化の中で、時代に呼応した新たなビジネスモデルの可能性を検討する。

4. 様々な事業リスクへの的確に対応しよう

- ・事業環境の変化により今後起こりうる様々なリスクに対し、その回避を目指すとともに、リスクが顕在化した時の影響を最小化するための情報収集や意見交換に積極的に取り組む。

以 上

一般社団法人 北海道電業協会 役員

令和8年5月29日

役職名	氏 名	会 社 名	備 考
会 長	藪 下 裕 己	(株) 北 海 電 工	総務・広報委員会担当 経営・厚生委員会担当 技術安全委員会担当
副 会 長	萩 本 哲 夫	三 共 電 気 工 業 (株)	
〃	伏 木 淳 樹	北 電 力 設 備 工 事 (株)	
〃	小 林 直 樹	日 本 電 設 工 業 (株)	総務委員会 委員長 経営委員会 委員長 広報委員会 委員長 技術安全委員会 委員長 厚生委員会 委員長 経営委員会 副委員長 技術安全委員会 〃 経営委員会 〃 総務委員会 〃 〃 〃 〃 〃
専務理事	鎌 田 拓 也	(一社) 北 海 道 電 業 協 会	
理 事	稲 津 亘 造	北 盛 電 設 (株)	
〃	土 田 徳 史	(株) ド ウ デ ン	総務委員会 委員長 経営委員会 委員長 広報委員会 委員長 技術安全委員会 委員長 厚生委員会 委員長 経営委員会 副委員長 技術安全委員会 〃 経営委員会 〃 総務委員会 〃 〃 〃 〃 〃
〃	木 村 賢 史	北 海 道 タ ッ ヲ 電 気 (株)	
〃	松 尾 浩 博	(株) 関 電 工	
〃	嶋 津 博 徳	島 津 電 設 (株)	総務委員会 委員長 経営委員会 委員長 広報委員会 委員長 技術安全委員会 委員長 厚生委員会 委員長 経営委員会 副委員長 技術安全委員会 〃 経営委員会 〃 総務委員会 〃 〃 〃 〃 〃
〃	猪 股 浩 卓	末 廣 屋 電 機 (株)	
〃	梅 木 友 昭	(株) き ん で ん	
〃	佐 藤 晴 久	(株) 北 弘 電 社	総務委員会 委員長 経営委員会 委員長 広報委員会 委員長 技術安全委員会 委員長 厚生委員会 委員長 経営委員会 副委員長 技術安全委員会 〃 経営委員会 〃 総務委員会 〃 〃 〃 〃 〃
〃	末 田 暁 彦	東 光 電 気 工 事 (株)	
〃	鈴 木 曉 彦	拓 北 電 業 (株)	
〃	土 岐 田 昇 市	橋 本 電 気 工 事 (株)	総務委員会 委員長 経営委員会 委員長 広報委員会 委員長 技術安全委員会 委員長 厚生委員会 委員長 経営委員会 副委員長 技術安全委員会 〃 経営委員会 〃 総務委員会 〃 〃 〃 〃 〃
〃	新 妻 緊 薫	釧 根 電 業 協 会	
監 事	成 瀬 卓 也	協 信 電 気 工 業 (株)	
〃	松 永 卓 一	浅 海 電 気 (株)	総務委員会 委員長 経営委員会 委員長 広報委員会 委員長 技術安全委員会 委員長 厚生委員会 委員長 経営委員会 副委員長 技術安全委員会 〃 経営委員会 〃 総務委員会 〃 〃 〃 〃 〃
〃	伊 東 新 一	税理士法人松永会計札幌事務所	
〃			

(敬称略)

一般社団法人 日本電設工業協会北海道支部 役員

令和8年5月29日

役職名	氏 名	会 社 名	備 考
支 部 長	藪 下 裕 己	(株) 北 海 電 工	(常 任 理 事)
副支部長	萩 本 哲 夫	三 共 電 気 工 業 (株)	(理 事)
〃	伏 木 淳 樹	北 電 力 設 備 工 事 (株)	〃
常 議 員	稲 津 亘 造	北 盛 電 設 (株)	(諮 問 委 員)
〃	猪 股 浩 卓	末 廣 屋 電 機 (株)	(諮 問 委 員)
〃	梅 木 賢 史	(株) き ん で ん	(諮 問 委 員)
〃	木 村 直 樹	北 海 道 タ ッ ヲ 電 気 (株)	(諮 問 委 員)
〃	小 林 友 昭	日 本 電 設 工 業 (株)	(諮 問 委 員)
〃	佐 藤 博 徳	(株) 北 弘 電 社	(諮 問 委 員)
〃	嶋 津 晴 久	島 津 電 設 (株)	〃
〃	末 田 暁 彦	東 光 電 気 工 事 (株)	〃
〃	鈴 木 徳 造	拓 北 電 業 (株)	〃
〃	土 岐 田 昇 市	(株) ド ウ デ ン	〃
〃	成 瀬 卓 也	橋 本 電 気 工 事 (株)	(諮 問 委 員)
〃	松 尾 浩 也	協 信 電 気 工 業 (株)	〃
〃	松 永 卓 一	(株) 関 電 工	〃
監 事	成 瀬 卓 也	浅 海 電 気 (株)	(諮 問 委 員)
〃	成 瀬 卓 一	協 信 電 気 工 業 (株)	〃
〃	松 永 卓 一	浅 海 電 気 (株)	〃
〃	伊 東 新 一	税理士法人松永会計札幌事務所	〃

(敬称略)



技術講習会開催する！



苫小牧電業協会

苫小牧電業協会は、令和8年2月18日(水)苫小牧市文化交流センター「アイビー・プラザ」において、令和7年度技術講習会を開催しました。講習会には、構成会員企業9社から17名の技術者が参加。電気設備工事における「施工計画作成のポイント」を学びました。

開催にあたり大滝 力緒会長は「本日は経験、知識豊富な講師に来ていただいた。施工計画は現



テーマ：『施工計画書作成のポイント』

場にとって一番重要であり、最も規則のある部分である。しっかりと勉強していただいて会社を持ち帰り、水平展開をお願いしたい」と呼びかけました。

講師には、(一社)日本電設工業協会より(株)北海電工の川口 博氏が派遣され、テキストには、同協会発行の電気設備工事「施工計画書」集成 改訂第3版を使用。施工計画書の意義や必要性から工種別の計画書まで、4時間にわたり丁寧な講義がありました。



大滝 会長



川口 博 氏

釧根電業協会

釧根電業協会は、令和8年4月21日(火)釧路市生涯学習センターにおいて、技術講習会を開催しました。講習会には、会員企業17社から30名の技術者が参加。工事会社が工事を受注または発注するために、工事価格の基礎となる原価を算出する積算業務の基礎知識について学びました。

開催にあたり新妻 緊市会長は「本日の講習会のテーマは積算である。それぞれの会社のやり方



テーマ：『積算業務の基礎知識と実務のポイント』

もあると思うが、経験豊富な講師の講義は参考になることが多いと思う。分からないことは質問して理解を深め、気付いたところは会社を持ち帰り、水平展開をしていただきたい」と挨拶がありました。講師には、(一社)日本電設工業協会より(株)きんでんの村上 雅春氏と(株)北海電工の川口 博氏が派遣され「積算業務の基礎知識と実務のポイント」をテーマに実習を交えて講習会が行われ、参加者からは「実務に近い形での実習でとても勉強になった」などの感想が寄せられました。



新妻 会長



村上 雅春 氏



川口 博 氏



豊穡な天塩川と 最北しじみが育む 悠久の歴史 ～天塩町～

天塩町長 吉 田 忠



■ まちの概要

天塩町は北海道の北西部、日本海に面した留萌管内の最北端、稚内市から南に約70kmに位置しています。東西に約25km、南北に約26kmに広がり、総面積は353.56km²を有します。北は北海道内でも有数の大河である「天塩川」を隔てて幌延町と接し、南は遠別町、東は中川町に隣接しています。

町名の由来かつ象徴である天塩川は、天塩岳を源流とし、日本海へと注ぐ全長256kmを誇る長流です。その長さは日本国内で第4位に数えられ、悠久の時をかけて地域の文化や産業を育んできました。下流域に広がる汽水域は利尻礼文サロベツ国立公園に隣接し、天然記念物のオジロワシ、稀少猛禽類のチュウヒ、国内最大の淡水魚で幻の魚と呼ばれるイトウなどが生残する豊穡な生態系を形成しています。

人口は約2,530人（令和8年2月末時点）で、豊かな自然環境を活かした酪農と漁業を基幹産業としています。古くから天塩川の河口に位置することから交通の要所として栄え、江戸時代には探検家「松浦武四郎」がこの地を訪れ、天塩川沿いに未踏の内陸部を探索しています。

現在の天塩町は「みんなで創ろう育てよう明るく楽しく元気なまちを」を基本理念に掲げ、伝統ある一次産業の振興と、デジタル技術を活用した地域課題の解決に積極的に取り組んでいます。

■ 天塩町の観光スポット

◎鏡沼海浜公園（かがみぬまかいひんこうえん）

町の西側に位置する「鏡沼海浜公園」は、天塩川の河口と日本海、そして美しい鏡沼という3つの水辺に囲まれた自然豊かな公園です。



約20haの広大な敷地内には、初夏になるとエゾカンゾウやハマナス、スズランなどが咲き、訪れる人の目を楽しませてくれます。また、キャンプ場やライダーハウス、バンガローなどの宿泊施設も完備されており、アウトドアの拠点としても人気です。

◎てしお温泉「夕映」(ゆうばえ)

鏡沼海浜公園に隣接する「てしお温泉・夕映」は、全国的にも珍しいアンモニア臭を含んだ高張性の温泉です。独特の茶褐色のお湯は、体の芯から温まると評判です。浴場からは日本海と利尻富士を眺めることができ、その名の通り、夕焼けに染まる景色を楽しみながら旅の疲れを癒やすことができます。



◎天塩川河川公園

天塩町市街地脇、天塩川の河口付近に広がるこの公園は、広大な芝生が広がる開放感あふれるスポットです。ここからは、ゆったりと流れる大河と利尻富士が織りなす、天塩町ならではのパノラマビューを堪能できます。毎年7月には「天塩川しじみまつり」が開催され、多くの来場者で賑わいます。

◎川口遺跡風景林

擦文時代を中心とした230基もの竪穴住居跡が点在しています。復元された竪穴式住居や遊歩道が整備されており、大河のほとりで暮らした古の人々の生活に思いを馳せながら、森林浴を楽しむことができる貴重な文化遺産です。

■ 天塩町の特産品

◎天塩川のしじみ

天塩町を代表する味覚といえば、天塩川の最下流域で獲れる「ヤマトシジミ」です。江戸時代には「蝦夷の三絶（北海道の三大味覚）」の一つに数えられるほどの名品として珍重されてきました。最北の厳しい環境で育つしじみは、一般的なものに比べて成長速度が遅い一方で、粒が大き



く、濃厚な出汁が出るのが特徴です。近年は流通量が限られる希少な食材となっていますが、「天塩しじみラーメン」や「砂出ししじみのパック」など、ご家庭でも楽しめる加工品が道の駅などで販売されています。

◎こだわりの酪農製品

酪農の町として、乳製品の質の高さも自慢です。特に「宇野牧場」では、牛を1年中放牧するスタイルでストレスなく育てており、その生乳を使用した「トロケッテ・ウーノ」は、プリンともヨーグルトとも異なる新感覚のミルクスイーツとして全国的に注目されています。また、自家製生乳を原材料にしたチーズ工房「べこちちファクトリー」の各種チーズや地元産の牛乳を使用した「てしおChuChuプリン」や、竹炭でしじみの黒を表現した「黒いプリン」など、ユニークなスイーツも充実しています。

◎てしお和牛

町内には乳牛のほかにも肉用牛（和牛）が飼育されており、その品質は高く評価されています。近年では和牛の製品化にも力を入れており、ふるさと納税の返礼品としても高い人気を博しています。

■ 天塩町のイベント

◎天塩川しじみまつり

例年7月に天塩川河川公園を会場に開催される町最大の観光イベントです。大粒しじみ貝の詰め放題、しじみ等水産物の即売会、キャラクターショーやステージショーなど子供から大人まで楽しめる企画が満載のイベントで町内外から多くの来場者で賑わうイベントです。



■ 天塩町ホームページ

◎ <https://www.teshiotown.jp/>





世界自然遺産・知床のまち ～羅臼町～

羅臼町長 湊 屋 稔



羅臼漁港

■ まちの紹介

北海道東部、知床半島の東側に位置する羅臼町は、オホーツク海と知床連山に囲まれた自然豊かな町です。世界自然遺産・知床の玄関口として、豊かな海の恵みと雄大な自然に育まれながら、人と自然が共生するまちづくりを進めています。

■ 世界自然遺産と豊かな自然

羅臼町は知床半島の東側に位置し、西には知床連山、東にはオホーツク海が広がる自然豊かな町です。森・川・海が一体となった生態系の中で、ヒグマやエゾシカ、オオワシ、オジロワシなど多くの野生生物が生息しています。2005年には知床が世界自然遺産に登録され、貴重な自然環境を守



流氷とオジロワシ

りながら活用していく地域として、国内外から注目を集めています。

冬には流氷が接岸し、オオワシやオジロワシが飛来するなど、雄大な自然の姿を見ることができます。

■ 海の恵みと名産品

羅臼町の基幹産業は漁業です。寒流と暖流が交わるオホーツク海は世界有数の好漁場として知られ、サケやホッケ、スケトウダラ、ウニなど多くの海産物が水揚げされています。



中でも羅臼昆布は、だし昆布の最高級品として全国的に高い評価を受けている特産品です。

豊かな海の恵みに支えられた水産業は、羅臼町の暮らしや地域の食文化を支える大切な産業と

なっています。

■ 北方領土に最も近い町

羅臼町は北方領土、国後島に最も近い町の一つです。天気の良い日には、海の向こうに国後島の山並みを望むことができます。

町内の羅臼国後展望塔では、北方領土の歴史や現状について学ぶことができ、北方領土問題を身近に感じることができます。毎年2月7日の「北方領土の日」には関連事業が行われ、北方領土問題への理解を深める取り組みが続けられています。

■ 観光スポット

羅臼町には自然や地域の魅力を体感できる観光スポットがあります。

羅臼国後展望塔は、北方領土の歴史や現状について学ぶことができる施設で、展望室からは、国後島を望むことができます。

知床羅臼ビジターセンターでは、世界自然遺産・知床の自然や生態系について、展示や映像を通して学ぶことができ、知床観光の拠点施設となっています。また「道の駅 知床・らうす」は、羅臼の海産物や特産品を販売する観光拠点施設で、新鮮な海の幸やお土産を求めて多くの観光客が訪れます。



さらに羅臼沖では、シャチやマッコウクジラなどの海洋生物を間近で観察できるクジラ・シャチウォッチングも人気で、知床の海の豊かさを体感できる観光地として多くの人々が訪れています。

■ 町を彩る行事

羅臼町では、季節ごとに様々な行事が開催されています。

2月には「北方領土の日」関連事業が行われ、北方領土問題への理解を深める取り組みが続けら

れています。

4月には知床横断道路の開通時期にあわせて「知床らうす雪壁ウォーク」が開催され、除雪によってできた雪の壁の間を歩きながら知床の自然を体感することができます。



7月には羅臼昆布の魅力を発信する「しれとこ羅臼こんぶフェスタ」が開催され、昆布製品の販売や食の体験などが行われます。

9月には町最大のイベントである「知床らうす産業祭『羅来楽（ららら）』」が開催され、羅臼昆布をはじめとする海産物や特産品の販売、ステージイベントなど、多くの来場者で賑わいます。



■ 自然と共生するまちづくり

羅臼町では、世界自然遺産の町として豊かな自然環境を未来へ引き継ぐ取り組みを進めています。2026年には生物多様性の回復を目指すネイチャーポジティブ宣言を発出し、森・川・海がつながる知床の自然を守りながら持続可能な地域づくりを進めています。

世界自然遺産・知床の豊かな自然とともに、羅臼町はこれからも「人と自然が共生するまち」として、その魅力と価値を次の世代へと伝えていきます。

■ 羅臼町ホームページ

© <https://www.rausu-town.jp/>





地域を支える工業系総合専門学校

本校は、「知識・技術・人間性など社会で必要とされる技術者を育成する」を教育目標に掲げ、道内では数少ない工業系総合専門学校として、昭和63年4月に開校しました。時代の変遷に伴い、柔軟な学科・コース再編を重ね、現在、専門課程7学科、4つの研究科、さらに中学校卒業者を対象とした工業系高等課程を設置しています。

■ 専門課程設置学科：コース、定員

- ◎自然環境学科：20名
- ◎建築技術学科：20名
- ◎バイオテクノロジー学科：20名
- ◎海洋生物学科：20名
- ◎電気技術学科：30名
- ◎情報システム学科：20名
- ◎自動車工学科 2級自動車整備士コース：60名

本校は即戦力となる知識・技術を磨く実践的カリキュラムが特色です。少人数教育で現場感覚を養うとともに、人間教育を通じて自立した「職業人」を育成しています。卒業生は各企業から高く評価されており、毎年安定した就職実績を誇っています。

■ 電気技術学科

～現場対応力の高いエンジニアを養成～

電気技術学科では、産業や生活基盤を支える電気インフラの分野等で、即戦力として活躍出来る「現場対応力の高い電気エンジニア」の養成を目指しています。

1. 実践重視のカリキュラム

実習に重きを置いた教育を展開し、1年次で「第二種電気工事士」、2年次で「第一種電気工事士」の内容を網羅し、免状所有者に匹敵する実力を養成出来るよう、きめ細かな実技指導を行っています。実習テーマは電気工事のみならず、ホイトストンブリッジなどの基礎測定実験から、高圧受電設備、三相変圧器の試験等まで幅広く取り入れています。

2. 資格試験対策の徹底

消防設備士、家電製品エンジニアの資格試験に直結した科目を設置しており、工事担任者受験希望者に対しても、関連分野の科目でサポートしています。2年次の「2級電気工事施工管理技術」、「第一種電気工事士筆記」試験直前期には対策講座を開講し、高い合格率を目指しています。

3. 校外学習活動の展開

これまで、北海電工様配電技術センター、ビジネスEXPO、石狩湾新港洋上風力発電所、札幌中央変電所など、最先端の施設を訪問してきました。

直近では昨秋、札幌市内の（仮称）北1西5計画において、2年生全員が大規模な工事現場を見学する貴重な機会をいただきました。

このような「生きた現場」を肌で感じる体験は、学生たちの職業観を高め、学習意欲をより確かなものにしていきます。

■ 取得可能な資格・特典

<卒業特典>

- ・第二種電気工事士（経産省養成施設）
- ・工事担任者（第2級デジタル通信：一部試験免除）

<目標資格>

- ・第一種電気工事士
- ・2級電気工事施工管理技術検定（第1次検定）
- ・消防設備士
- ・家電製品エンジニア
- ・第三種電気主任技術者
- ・Word・Excel検定 ほか

■ 電気技術学科の地域・広報活動

◎ 中学校職業体験講座などの受け入れ

中学校からの「職業体験講座」などを積極的に受け入れ、3路スイッチ回路の配線実習や単極モータの製作、磁石の落下実験などを実施しています。



中学校進路学習オリエンテーリング

◎ 札幌地下歩行空間（チ・カ・ホ）での

展示・体験イベント

電気技術学科では、学生制作の電気工事動画の上映、オシロスコープによる音声波形表示、シーケンス制御の実演、単極モータ製作体験などを行っています。体験を通して「電気」を身近に感じてもらい、電気への興味関心を広げられるよう努めています。



チ・カ・ホイベント単極モータ製作

◎ 入学体験会（広報活動）

配線実習やCADによる屋内配線図作成、オシロスコープによる様々な波形表示など、「出来た!」という達成感や、電球が点灯する瞬間の「感激」を味わえるプログラムを工夫し、本校の魅力を伝えています。



入学体験

■ 札幌科学技術専門学校ホームページ

◎ <https://s-kagisen.ac.jp/>





■ 電業協会の概要

- ・ 設 立：昭和41年 4 月 1 日
- ・ 会員数：35社
- ・ 人 口：約26万人
- ・ 自治体数：1 市12町

苫小牧電業協会は、昭和41年 4 月 1 日の設立以来、60年にわたり電気設備工事事業者の団体として活動してきました。対象エリアは苫小牧市を中心とした東胆振から日高管内（1 市12町）におよび、地域住民の生活基盤である電気設備の施工・維持管理を担っています。現在、会員企業は35社で構成されており、日々変化する地域のニーズに的確に応えるため、専門的な技術力の向上に組織として取り組んでいます。

■ 電業協会の事業活動

《安全への揺るぎない取り組み》

「安全第一」を掲げ、例年 2 回の安全パトロールを実施しています。苫小牧市都市建設部設備課からも参加を仰ぎ、資材の保管状態や高所作業車の使用状況、安全書類の確認を徹底し、事故防止を強く呼びかけています。

《環境美化とボランティア活動》

地域に根差した団体として「苫小牧市公園等里親制度」に登録し、年に 2 回の清掃活動を行っています。遊歩道の照明灯外観清掃や沿道のごみ拾いを通じて、市内環境の維持に貢献しています。

《要請活動と関係機関との連携》

適切な施工体制の確保を目的とし、苫小牧市や苫小牧港管理組合に対し、電気工事の分離発注や早期発注の要望書を提出しています。また、室蘭開発建設部との意見交換会を定期的に開催しているほか、管内の自治体へ分離発注の要請活動も行っております。

《技術講習会の開催》

令和 5 年から、(一社)北海道電業協会の協力を得て、会員を対象とした技術講習会を 2 月に開催しております。毎回20数名の参加があり今後も継続して開催する予定です。

《会員親睦事業》

春から初夏にかけてゴルフ大会、夏にはビールパーティー、忘年会と会員親睦を深める事業を展開しております。

■ 管内おすすめスポット

苫小牧は、国際拠点港湾である苫小牧港と、北海道の空の玄関口・新千歳空港に近接する「ダブルポート」の街です。この交通の要所としての強みを活かし、背後には自動車産業やエネルギー関連企業が集積しています。一方で、豊かな自然と独自の文化も魅力です。

《自然と景勝地》

樽前山とウトナイ湖：まちのシンボルである樽前山や、野鳥の楽園として知られるウトナイ湖など、ダイナミックな自然がすぐそばにあります。



ウトナイ湖と白鳥

《レジャーと文化施設》

オートリゾート苫小牧アルテン：日本オートキャンプ協会から五つ星評価を受けるキャンプ場です。天然温泉が併設されており、カヌーやパークゴルフなどのアクティビティも充実しています。



《氷上の格闘技とスポーツ》

1966年に全国初の「スポーツ都市宣言」を行った苫小牧は、特にアイスホッケーが盛んです。多くの日本代表選手を輩出しており、市民にとってスポーツは非常に身近な存在になっています。



nepiaアイスアリーナ

■ 構成会員紹介

にしきど 電気 株式会社 錦戸電気

1914年創業、北海道苫小牧市を拠点に錦戸商店として事業を開始し、時代の変化に柔軟に対応しながら事業の幅を広げ、1948年に株式会社として新たな体制を確立しました。100年以上にわたり積み重ねてきた経験と信頼を礎に、地域に根ざした企業として着実に成長を続けています。

当社は「北海道が誇る企業」を掲げ、社員一人ひとりが仕事に誇りを持つ「錦戸プライド」を大切にしながら、お客様との信頼関係を築き、安全安心を支えるパートナーとして社会に貢献することを使命としています。

近年では、事業基盤のさらなる強化を目的として、清水電設株式会社および株式会社吉本電業社をグループ会社に迎え、電気工事業界における技

術力と対応力の向上を図っています。各社が培ってきた技術や経験を活かしながらグループとしての連携を深めることで、より幅広いニーズに応えられる体制を整えています。

今後も社員の成長とチームワークを原動力に、グループの力を結集し、地域とともに次の時代へ価値をつないでいく企業を目指してまいります。



株 錦戸電気 札幌支店

◎ ホームページ

<https://www.nishikido.jp/>



苫 小 牧 電 業 協 会

〒053-0043

北海道苫小牧市日の出町2丁目14番22号 清水電設(株)内

～シリーズ～「私のいちおし」

株式会社 北弘電社

代表取締役社長 佐藤 友 昭

私がお勧めするお店は「中華料理 神龍」さんです。場所は、会社から徒歩1分、地下鉄東西線二十四軒駅より徒歩5分程度の場所にあります。

このお店は、店主の佐藤さん夫婦が二人三脚で営んでおり、平成17年のオープンから長年にわたり、地元の常連客、観光客などに親しまれています。



店舗全景

お店で使われている野菜や海鮮は、店主が毎日中央卸売市場で買い付け、「少しでも新鮮な食材をお客様に提供したい」との思いで料理を提供しているそうです。

お店では、チャーハン、ラーメンなど豊富なメニューがあり、定番の本格中華料理を手頃な価格で楽しめます。

その中でも、私の一番のお勧めは「ラーメンランチ」です。味噌、塩、醤油の3種類から選択でき、日替わりでご飯もの(チンジャオ丼等)がセットとなっており、お店一番の人気メニューとなっております。特に醤油ラーメンがお勧めです！



お勧めの「ラーメンランチ」

営業時間は昼、夜の二部となっており、夜営業時は、店主の計らいで、貸切りでの宴会、会合にも対応して下さいます。(要相談)

宴会メニューはランチメニューとはひと味違う、独創的な中華料理の一品が楽しめます。

また、お酒好きの方には「紹興酒」がお勧めです。



宴会での「一品料理」

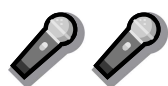
「中華料理 神龍」は札幌中央卸売市場の一角にありますので、近くにお越しの際は美味しい中華料理を堪能出来ますので、是非一度ご利用されてみてはいかがでしょうか。



店主 佐藤さん（右）と一緒に

◇ 中華料理 神 龍

- ・ 住 所：札幌市中央区北10条西22丁目 2-11
- ・ 電 話：011-623-2822
- ・ 定休日：第3水曜日、木曜日
- ・ 営業時間：ランチ 10：00～15：00
ディナー 17：00～20：00



第2回 歌唱部会を開催



冬の夜のハーモニー！ 21名の**熱気**が『ナイトバンク』を**圧倒**！！



左から 厚谷 元部会長、向平 前部会長、大塚 部会長

令和8年2月27日(金)、月末の多忙な時期にもかかわらず総勢21名の参加をいただき、第2回歌唱部会を「ナイトバンク」にて開催しました。

冒頭、長年にわたり歌唱部会長を務められた(株)北弘電社の向平さんよりご挨拶をいただきました。向平さんは、本年3月末を以て会社を退職されることとなり、今回が最後の歌唱部会への参加となりました。色々と昔の思い出を含めてご挨拶をいただきました。

その後はベテラン勢による安定感のある昭和歌謡から、若手による令和のヒット曲まで、幅広いジャンルの楽曲が次々と披露され、普段のヘルメットやスーツ姿とは一味違う、個性豊かな歌声とパフォーマンスに会場のボルテージは終始上がりっぱなしでした。



参加された皆さん



挨拶する 嶋津 厚生委員長 (右)

会社や役職の垣根を越えたデュエットや、全員での合唱が巻き起こり、まさに「歌」という共通の言語を通じて、会員相互の連帯感がより一層強固なものになったことを感じさせる一夜となりました。

素晴らしい歌声を披露してくださった参加者の皆さまに、厚く御礼申し上げます。来年も多くの皆さまのご参加をお待ちしております。

歌唱部会長 大塚 雅史
部会幹事一同

◆ 令和8年度 歌唱部会活動予定 ◆

- 第1回 令和8年8月開催予定
- 第2回 令和9年2月開催予定



「歌」と「おしゃべり」で盛り上がる

業 界 だ よ り

会 員 名	異動事項	変更後（新）	変更前（旧）
北工電気株式会社 札幌支店	会員代表者 (12月1日付け)	取締役支店長 森 等	取締役支店長 笠原 俊男
ハラデンキ株式会社	会員代表者 (12月1日付け)	代表取締役社長 原 克哉	代表取締役社長 原 均
株式会社 ユアテック 北海道支社	会員代表者 (4月1日付け)	支社長 中村 隆雄	支社長 大山 智裕
株式会社 北海道ジーエス・ ユアササービス	会員代表者 (4月1日付け)	代表取締役社長 外波山誠人	代表取締役社長 藤田 真一
ダイダン株式会社 北海道支店	会員代表者 (4月1日付け)	理事支店長 長田 公一	理事支店長 西谷 春海
パナソニック株式会社 エレクトリックワークス社 北海道電材営業部	社名変更 (4月1日付け)	(新社名) パナソニックエレクトリック ワークス株式会社 北海道電材営業部	

◆ Conference reports ◆

理事会・三役会議・委員会報告

理 事 会

◇ 令和8年1月27日(火) 北海道電気会館

【第6回議題】

(協議事項)

1. 令和8年度会費等収入見込額と収支予算案の策定について
2. 令和8年度北海道防衛局事業説明会への対応について
3. 「働き方改革」推進に向けた建設関連団体等との意見交換について

(報告事項)

1. 令和7年度登録電気工事基幹技能者認定講習の結果と8年度の実施内容について
2. 令和7年度北海道開発局営繕部との意見交換会について
3. 令和7年度「建設産業ふれあい展」について
4. 令和8年度電気記念日の事業実施に伴う後援依頼への対応について

5. 令和7年度技術講習会について
6. 会員の諸変更について
7. 令和8年2月～3月行事予定について
(その他意見交換)

◇ 令和8年3月24日(火) 北海道電気会館

【第7回議題】

(協議事項)

1. 令和8年度事業計画(案)及び収支予算(案)について
2. 令和8年度スローガン(案)について
3. 令和7年度収支決算見込みについて
4. 次期定時総会(電業協会・電設協)について
 - ①開催内容と準備スケジュール(案)
 - ②議事次第(案)について
 - ③開催案内と来賓の案内先について
5. 令和7年度運営協議会の開催について

(報告事項)

1. 功績表彰候補者について(令和8年対象者)

2. 電設協本部への新規入会申請企業の承認について
3. 建設関連団体への「働き方改革」推進に向けた要請活動および意見交換について
4. 令和8年度北海道防衛局事業説明会について
5. 令和7年度電設業関連4団体懇談会について
6. 会員の諸変更について
7. 令和8年4月～5月行事予定について
(その他意見交換)

◇ 令和8年4月20日(月) 北海道電気会館
【第1回議題】
(協議事項)

1. 令和8年度役員会等主要行事の日程について
2. 電設協役員等の改選に伴う北海道支部からの推薦について
3. 電業協会第60回・電設協道支部第70回定時総会について
 - ①令和7年度事業活動報告について
 - ②令和7年度収支決算について
 - ③定時総会の準備状況について
 - ④定時総会の進行及び運営(案)について
 - ⑤合同懇親会の運営(案)について

(報告事項)

1. 令和8年度協会スローガン(案)の検討結果について
2. 定款第21条第5項の規定に基づく職務執行状況の報告について
3. 令和7年度第2回運営協議会(地区代表者会議)の概要報告について
4. 令和8年度技術・安全衛生基礎教育講習会の開催報告について
5. 会員の諸変更について
6. 令和8年5月～6月行事予定について
(その他意見交換)

三 役 会 議

◇ 令和8年2月12日(木) ニューオータニイン札幌
【第11回議題】
(協議事項)

1. 電設協令和8年度役員改選期の理事定数、諮

- 問委員定数の照会について
2. 次期定時総会について
 - ①定時総会準備スケジュール(案)
 - ②令和8年度スローガン(案)
3. 令和7年度電設業関連4団体懇談会の運営について
4. 令和7年度運営協議会の開催について
(報告事項)

1. 「働き方改革」の推進に向けた建設団体との意見交換について
2. 会員の諸変更について
3. 令和8年2月～3月行事予定について
(その他意見交換)

◇ 令和8年3月10日(火) 北電興業ビル
【第12回議題】
(協議事項)

1. 次期定時総会について
 - ①議事次第(案)について
 - ②開催案内(案)について
 - ③令和8年度スローガン(修正案)について
 - ④令和8年度収支予算(案)について

(報告事項)

1. 令和8年度功績表彰候補者について
2. 令和8年度北海道防衛局事業説明会について
(開催報告)
3. 令和7年度電設業関連4団体懇談会について
4. 電設協本部・支部事務連絡会議報告について
5. 会員の諸変更について
6. 令和8年3月～4月行事予定について
(その他意見交換)

◇ 令和8年4月10日(金) 北電興業ビル
【第1回議題】
(協議事項)

1. 電業協会第60回・電設協道支部第70回定時総会について
 - ①令和7年度事業活動の報告について
 - ②令和7年度収支決算について
 - ③令和8年度収支予算について
 - ④令和8年度スローガン(案)について
 - ⑤定時総会の全体進行案について

2. 電設協役員等の改選に伴う道支部推薦者（案）について
3. 定款第21条第5項の規定に基づく職務執行状況の報告について（下期）

（報告事項）

1. 令和7年度第2回運営協議会（地区代表者会議）議事概要について
2. 会員の諸変更について
3. 令和8年4月～5月行事予定について

（その他意見交換）

- ・顧問会の開催について

◇ 令和8年5月15日(金) 北電興業ビル
【第2回議題】

（協議事項）

1. 電業協会第60回・電設協道支部第70回定時総会の進行等について
2. 定時総会及び合同懇親会の運営等について
3. 中高生向け職業体験イベントへの参加について（札幌商工会議所主催）

（報告事項）

1. 令和8年度「札幌協親睦ゴルフ大会」の案内への対応について
2. 令和8年度「公共建築の日」及び「公共建築月間」の記念イベントにおける後援について
3. 会員の退会について
4. 会員の諸変更について
5. 令和8年5月～6月行事予定について

（その他意見交換）

総務委員会

◇ 令和8年3月11日(水) 北電興業ビル
【第4回議題】

1. 定時総会までの準備スケジュールについて
2. 令和7年度総務委員会事業活動報告（案）について
3. 令和8年度総務委員会事業活動計画（案）について
4. 令和8年度電業協会収支予算（案）について
5. 令和8年度電業協会スローガン（案）
6. 功績表彰候補者の選考及び推薦について

7. 令和7年度運営協議会の開催について
8. 令和7年度「建設産業ふれあい展」開催報告
9. 建設関連団体等への「働き方改革」推進の要請活動について
10. その他意見交換

経営委員会

◇ 令和8年3月18日(水) 北海道電気会館
【第3回議題】

1. 電設協本部「第325回政策委員会」の議事について
2. 令和7年度北海道開発局営繕部との意見交換会の議事について
3. 令和7年度経営者懇談会・セミナーの開催報告について
4. 建設業関連団体への「働き方改革」推進要請活動実施報告について
5. 北海道防衛局事業説明会について
6. 令和7年度電設業関連4団体懇談会の議事について
7. 分離発注要請活動実施状況について
8. 令和7年度経営委員会事業活動報告（案）について
9. 令和8年度経営委員会事業活動計画（案）について
10. その他意見交換

広報委員会

◇ 令和8年1月27日(火) 北海道電気会館
【第3回議題】

1. ホームページの更新について
2. 藪下会長「年頭のご挨拶」について
3. 会報「No.208」発行までのスケジュール等について
4. 会報「No.209」編集方針（案）について
5. 次回の広報委員会について
6. その他意見交換

◇ 令和 8 年 3 月 24 日(火) 北海道電気会館
【第 4 回議題】

1. ホームページの更新について
2. 令和 7 年度広報委員会事業活動報告（案）について
3. 令和 8 年度広報委員会事業活動計画（案）について
4. 次回の広報委員会について
5. その他意見交換

◇ 令和 8 年 5 月 27 日(水) 北電興業ビル
【第 1 回議題】

1. ホームページのSSL化について
2. 令和 8 年度広報委員会体制について
3. 令和 8 年度広報委員会事業活動計画（案）について
4. 会報「No.209」発行までのスケジュール等について
5. 会報「No.210」編集方針（案）について
6. ホームページのリニューアルについて
7. その他意見交換

技術安全委員会

◇ 令和 8 年 3 月 19 日(木) 北海道電気会館
【第 3 回議題】

1. 第 2 回技術安全委員会以降の事業活動について（総会議案書掲載以外）
2. 令和 8 年度技術・安全衛生基礎教育講習会の開催内容について
3. 令和 7 年度技術安全委員会事業活動報告（案）について
4. 令和 8 年度技術安全委員会事業活動計画（案）について
5. 施工工事現場の紹介について
6. 今後の事業活動について
7. その他意見交換

厚生委員会

◇ 令和 8 年 3 月 12 日(木) 北海道電気会館
【第 2 回議題】

1. 各部会の活動報告について
2. 令和 7 年度厚生委員会事業活動報告（案）について
3. 令和 8 年度厚生委員会事業活動計画（案）について
4. 令和 8 年度厚生委員会事業活動予算（案）について
5. 当面の事業活動について
6. その他意見交換



STOP! 熱中症
～クールワークキャンペーン～
職場での熱中症により近年は、
一年間で約30人が亡くなり、
約1,000人以上が4日以上、
仕事を休んでいます。

重点取組期間

7月

にすべきこと

- ☐ 暑さ指数の低減効果を再確認し、必要に応じて対策を追加
- ☐ 暑さ指数に応じた作業の中断等を徹底
- ☐ 水分、塩分を積極的に取らせ、その確認を徹底
- ☐ 作業開始前の健康状態の確認を徹底。巡視頻度を増加
- ☐ 熱中症のリスクが高まっていることを含め教育を実施
- ☐ 熱中症の恐れがある者を発見したときは、躊躇することなく救急隊を要請



講習会情報

information



■ 令和8年度『登録電気工事基幹技能者認定講習』（Web開催）

- 申込受付期間（インターネット申請*）
 - ・ 令和8年7月6日(月)～7月25日(土)まで（予定）
 - ※ 実務経験証明書は事業主押印後、別途郵送
- Web講習（eラーニング）
 - ・ 受講期間：令和8年9月1日(火)～10月31日(土)まで（予定）
- CBT試験*
 - ・ 受験期間：令和8年11月1日(日)～11月28日(土)まで（予定）
 - ※ 日時を指定。全国約330箇所の試験会場から選択し受験
- 受講料（税込）
 - ・ 22,550円
- その他
 - ・ 受講資格および必要書類など詳細につきましては、令和8年7月1日(水)（予定）に掲載される（一社）日本電設工業協会のホームページをご覧ください。

■ 『第一種電気工事士〔技能〕試験対策講習会』

- 申込受付期間
 - ・ 令和8年9月25日(金)～10月16日(金)まで（予定）
- 開催日
 - ・ 令和8年10月31日(土)～11月1日(日)2日間
- 開催場所
 - ・ 株式会社 北海電工 8階 講堂（札幌市白石区菊水2条1丁目8-21）
- 受講料（税込）
 - ・ 10,000円（材料代実費）
- 申込方法
 - ・ 案内および申込用紙は、（一社）北海道電業協会のホームページからダウンロードしてください。申込用紙はメールにて提出。受講定員に達し次第締め切ります。
- 講習内容
 - ・ 試験のポイント解説、公表候補問題の演習など
- その他
 - ・ 受講資格および申込方法など詳細につきましては、令和8年9月25日(金)（予定）に掲載される（一社）北海道電業協会のホームページをご覧ください。

事務局日誌

【2月】

- 2日(月) ○ 日建連北海道支部意見交換会
(鹿島建設北海道支店) 藪下会長他
- 3日(火) ○ 令和7年度技術講習会
(北海道電気会館) 長内事務局長
- 4日(水) ○ 北海道防衛局事業説明会
(北海道防衛局) 萩本副会長他
- 12日(木) ○ 第11回三役会議
○ 電設業関連4団体懇談会
(ニューオータニイン札幌)
- 16日(月) ○ 電設協本部・支部事務連絡会議
(電設協本部) 鎌田事務局長
- 18日(水) ○ 苫小牧電業協会技術講習会
(苫小牧市文化交流センター) 長内事務局長
- 25日(水) ○ 道空調衛生工事業協会総会懇親会
(京王プラザホテル) 萩本副会長
- 27日(金) ○ 厚生委員会第2回歌唱部会

【3月】

- 6日(金) ○ 札幌弱電設備業協同組合意見交換会
(ライフオート札幌) 萩本副会長
- 10日(火) ○ 第12回三役会議
○ 第325回本部政策委員会
(本部会議室) 今野経営副委員長
- 11日(水) ○ 第4回総務委員会
- 12日(木) ○ 第2回厚生委員会
- 13日(金) ○ 本部運営委員会・定例懇談会
(ザ・キャピトルホテル東急) 藪下支部長
- 17日(火) ○ 厚生委員会ゴルフ部会第4回幹事会
- 18日(水) ○ 第3回経営委員会
- 19日(木) ○ 本部理事会
(ホテルニューオータニ東京) 藪下支部長
○ 第3回技術安全委員会
○ 北海道建築士会総会意見交換会
(札幌ガーデンパレス) 小林副会長
- 24日(火) ○ 第7回理事会・常議員会
○ 第2回運営協議会(地区代表者会議)
○ 第4回広報委員会

- 25日(水) ○ 北海道建築士事務所協会意見交換会
(札幌ガーデンパレス) 伏木副会長
- 26日(木) ○ 2025年度電気設備学会「講習会」
(北海電工ビル) 長内事務局長

【4月】

- 7日(火)～10日(金)
○ 技術・安全衛生基礎教育講習会
- 10日(金) ○ 第1回三役会議
- 14日(火) ○ 厚生委員会野球部会幹事会
- 15日(水) ○ 令和7年度監事監査
- 20日(月) ○ 第1回理事会・常議員会
- 21日(火) ○ 釧根電業協会技術講習会
(釧路市生涯学習センター) 長内事務局長
- 27日(月) ○ 本部・支部会員大会打合せ
(オンライン) 鎌田事務局長

【5月】

- 12日(火) ○ 本部運営委員会・理事会
(ホテルニューオータニ東京) 藪下支部長
- 14日(木) ○ 北海道電気資材卸業協同組合総会
(ニューオータニイン札幌) 萩本副会長
- 15日(金) ○ 第2回三役会議
- 20日(水) ○ 札幌電設業協会総会後意見交換会
(札幌ビューホテル大通公園) 藪下会長
- 22日(金) ○ 札幌電気工事業協同組合通常総代会
(札幌ビューホテル大通公園) 藪下会長
- 26日(火) ○ 第326回本部政策委員会
(東京ビックサイト) 今野経営副委員長
- 27日(水) ○ JECA FAIR 2026
(東京ビックサイト)
○ 第1回広報委員会
- 29日(金) ○ 北海道電気安全委員会通常総会
(北海道電気会館)
○ 道電協第60回・電設協北海道支部
第70回定時総会
(札幌グランドホテル)

常設委員会・部会

■ 三 役

役 職	会 長	副会長	副会長	副会長	専務理事
氏 名 (担当委員会)	藪下 裕己 (北海電工)	萩本 哲夫 (総務・広報担当) (三共電気)	伏木 淳 (経営・厚生担当) (北電力設備)	小林 直樹 (技術安全担当) (日本電設)	鎌田 拓也 (電業協会)

■ 常設委員会

委 員 会 名 正 副 委 員 長	委員会所管事業	所 掌 事 項
◎ 総務委員会 (正) 稲津 亘 (北盛電設) (副) 末田 晴久 (東光電気) (副) 鈴木 暁彦 (拓北電業) (副) 土岐田 昇 (橋本電気)	協会運営の基本となる総合的事項及び電業協会における労務に関する事項等を協議し対処する	・監督官庁との意見交換会の開催 ・経営者懇談会の開催 ・地区電業協会との連携 ・地方公共団体等との防災協定に関わる対応 ・優秀な人材確保と育成に関する諸事業 ・その他の委員会に属さない事項
◎ 経営委員会 (正) 土田 徳造 (ドウデン) (副) 猪股 浩徳 (末 廣 屋) (副) 今野 正章 (北海電工) (副) 佐藤 友昭 (北弘電社)	電設業の経営力の向上・発展及び分離発注の推進を図る	・経営関係調査の対応 ・公共工事の入札契約制度等の研修会の実施 ・経営基盤強化のための適正受注 ・分離発注の要請活動 ・関連諸団体等との連携協調 ・経営に関する教育講習会の実施 ・その他経営に関する諸問題への対応
◎ 広報委員会 (正) 木村 賢史 (道タツヲ) (副) 大塚 雅史 (北盛電設) (副) 松岡 孝夫 (三 新)	会員及び関係各界への広報活動の推進を図る	・会報の編集及び発行等 ・会員名簿の更新 ・その他広報活動
◎ 技術安全委員会 (正) 松尾 浩 (関 電 工) (副) 梅木 卓 (きんでん) (副) 小川 恒明 (協信電気)	電設業の設備・施工技術の向上及び労働災害防止、環境対策を図る	・官公庁との技術研修会及び意見交換会の開催 ・電気設備新技術及び技術力向上のための情報提供、講習会の開催 ・技術・安全衛生教育基礎講習会の開催 ・電気設備工事現場見学会の開催 ・電気工事関係資格取得への支援 ・工事現場の安全パトロールの実施 ・労働安全衛生及び環境に関する諸行事への対応 ・その他技術及び安全に関する諸問題への対応
◎ 厚生委員会 (正) 嶋津 博 (島津電設) (副) 暈 友祐 (北札電設)	会員相互の親睦・意思疎通を図る	・会員相互の親睦を図るための諸行事の企画及び実施

組織と役員名簿

令和 8 年 6 月

監 事	監 事	監 事
伊東 新一	成瀬 薫	松永 卓也
(松永会計)	(協信電気)	(浅海電気)

下線：新任役員

委 員	
石田 貴久 (でんこう) <u>本間 勝行 (アイリンク)</u> 吉田 岳夫 (北海電工)	小林 勇治 (三共電気) 嶋川 泰規 (丸三大信) 堀岡 裕司 (北弘電社) 水谷 吉男 (道タツヲ) 森崎 亨一 (北盛電設) 吉岡 智己 (住友電設)
<u>石川 繁樹 (三共電気)</u> 佐藤 譲 (東光電気) 福田 哲也 (大成電気)	内川 勝哉 (北弘電社) 小村 広樹 (北盛電設) 佐口 紀浩 (日本電設) 田口 昌慶 (関 電 工) 西山 博章 (きんでん) 橋本 佳明 (橋本電気)
足利 祐典 (きんでん) 有本 純 (北電力設) 内田 勝久 (北海電工) 片平 友樹 (浅海電気) 坂本 淳 (道タツヲ) 嶋田 幸規 (北弘電社) <u>細野 隆平 (アイリンク)</u> 三好 充博 (協信電気) 若宮 昇平 (拓北電業)	
太田 展浩 (北弘電社) 川口 博 (北海電工) <u>鈴木 正行 (東光電気)</u> 堀岡 貢司 (旭日電気) 松井 良一 (札幌日信) 宮森 慎一 (拓北電業)	
大塚 雅史 (北盛電設) 嶋田 幸規 (北弘電社) 藤井 大樹 (でんこう) 吉田 岳夫 (北海電工)	
ゴ ル フ 部 会	(長) 吉田 岳夫 (北海電工) 石田 啓二 (山口電気) 稲津 亘 (北盛電設) 片平 友樹 (浅海電気) 木村 賢史 (道タツヲ) 暁 友祐 (北札電設) 田中 由彦 (システム) 松井 良一 (札幌日信) <u>本間 勝行 (アイリンク)</u>
野 球 部 会	(長) 嶋田 幸規 (北弘電社) 足利 祐典 (きんでん) 片平 友樹 (浅海電気) 釜石雄一郎 (東光電気) 木村 裕介 (北海電工)
ボウリング部会	(長) 藤井 大樹 (でんこう) 坂本 淳 (道タツヲ) 福田 哲也 (大成電気) <u>細野 隆平 (アイリンク)</u>
歌 唱 部 会	(長) 大塚 雅史 (北盛電設) <u>内川 勝哉 (北弘電社)</u> 尾形 武志 (協信電気) 佐藤 貞治 (北海電工) <u>境 一憲 (関 電 工)</u>

今後の主要な行事予定

7月～9月

7月



行 事	日 程	場 所
令和8年度全国安全週間	7月1日～7日	
第4回三役会議	7月8日(水)	北電興業ビル
厚生行事第2回ゴルフ部会	7月14日(火)	札幌エルムCC
*本部政策委員会	7月14日(火)	本部会議室
厚生行事第1回ボウリング部会	7月17日(金)	ノルベサBowl
シーケンス制御の基礎実技講習	7月22日(水)	北海電工ビル
札幌市電気設備施工研修会	7月27日(月)	北海道電気会館
*本部・支部事務連絡会議	7月31日(金)	本部会議室

8月



第5回三役会議	8月5日(水)	北電興業ビル
技術系学校先生との意見交換会	8月7日(金)	札幌グランドホテル
協会夏季休日	8月12日～14日	
技術系学校生徒の現場見学会	8月20日(木)	札幌市立琴似小学校
安全衛生パトロール	8月21日(金)	長沼町
第3回理事会・常議員会	8月28日(金)	北海道電気会館
厚生行事第1回歌唱部会	8月28日(金)	札幌市内飲食店

9月



第6回三役会議	9月9日(水)	北電興業ビル
*本部政策委員会	9月10日～11日	外部開催
*本部常任理事会・運営委員会	9月18日(金)	ホテルニューオータニ東京
厚生行事第3回ゴルフ部会	9月18日(金)	札幌芙蓉CC
第2回総務委員会	(未定)	
第2回経営委員会	(未定)	
第2回技術安全委員会	(未定)	
第2回広報委員会	(未定)	

* 日本電設工業協会北海道支部

編集後記

このたび、会報誌209号の巻頭言を、札幌市都市局長 吉田 幸治 様よりご寄稿いただき誠にありがとうございます。

吉田様のお話にもありましたが、札幌市は施設の長寿命化や建替時期の分散化を図り、計画的かつ効率的な維持・保全を行うため、「市有建築物保全推進事業」の実施や、災害に強い都市の構築に向けて、「第4次札幌市耐震改修促進計画」を策定し取り組んでいます。

先月マグニチュード7.7の地震が発生しており、北海道・三陸沖後発地震注意情報が発表されるなど、各地で地震が多発し、日頃より災害に備えなければなりません。

われわれ電設業界も、まちのインフラを整備・維持するだけでなく、災害時には地域の守り手としての役割を担っています。電設業界は労働力不足に直面していますが、処遇改善、人材育成やDX等を推し進め、これからも業界全体が地域や社会に愛され、魅力的で持続可能なまちづくりを進めてまいります。

広報副委員長 松岡 孝夫

広報委員会

担当副会長	萩本 哲夫
委員長	木村 賢史
副委員長	大塚 雅史
副委員長	松岡 孝夫

委員	足利 祐典
委員	有本 純
委員	内田 勝久
委員	片平 友樹

委員	坂本 淳
委員	嶋田 幸規
委員	本間 勝行
委員	三好 充博

委員	若宮 昇平
オブザーバー	嶋津 博

表紙の花『すずらん』：小さな花がうつむくように複雑に連なって咲く、ひっそりした可憐な姿が人々に愛されています。北海道の代表的な花ですが、昭和35年には札幌市の花に選ばれています。



発行 令和8年6月
一般社団法人 北海道電業協会
札幌市中央区北1条東3丁目1-1
北電興業ビル4階
TEL (011)271-2932
FAX (011)271-2952
E-Mail:dodenkyo@estate.ocn.ne.jp
URL:<https://www.dodengyo.jp/>

